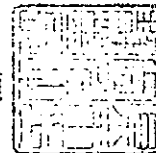


菊 建 建 第 2 6 5 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

菊川市長 太 田 順



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号をもって依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

記

- | | |
|----------------------------|-----|
| ①道路行政全般について改善すべき点、要望や、提案など | 様式① |
| ②－ 1 地域の現状と抱える課題 | 様式② |
| ②－ 2 地域の目指すべき将来像 | 様式③ |
| ③道路施策の重点事項 | 様式④ |

担 当

菊川市建設経済部建設課

樽松康之

TEL0537－35－0902

FAX0537－35－2115

mail : kensetsu@city.kikugawa.shizuoka.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県菊川市

今日の道路の整備状況を見ますと、一般国道をはじめ高速道路等や、大都市の道路につきましては整備が進んでいると思われますが、私どものような地方の小さなまちの道路整備状況は、貧困であるといわざるを得ない状況であります。整備された幹線道からのアクセス、又そこからの地域間の交通はまだまだ整備されていない状況であります。また歩道もない狭小な箇所も数多くあり、歩行者が安心安全に通行するにはまだまだ整備の必要があります。さらには今後、これまでに整備されてきた道路の補修、橋梁の架け替え等が多く発生すると思われ、道路の財源確保は今後さらに重要な課題となると思われます。このことから先の閣議で決定された道路財源の一般財源化は、多くの国民を不安に陥れるものと確信する次第であります。したがって一般財源化には道路整備の財源を担保していただく事が不可欠と考えるところ
です。

又、道路の評価についてであります。費用対効果を言われますが、現在の評価は、その道路の交通そのものだけを問うているように思われます。道路が改良される事によりその地域の経済活動の発展や、災害時の援助、特にこの地域は原子力発電所があることから市を南北に貫いている、県道掛川浜岡線はその緊急避難路となっております。このように数値上現れにくい事柄も評価のひとつの指標としていただきたいと考えております。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②-1地域の現状と抱える課題

静岡県菊川市

○現状

都市計画道路西方高橋線(県道掛川浜岡線)は、市の南部と市の北西にある掛川市を結ぶ、交通の安全性、快適性、定時制を確保するための東遠広域圏の主要幹線道と位置付けられている。当市にとっても人の交流、経済活動において重要な道路であるが、歩道が整備されている部分は少なく、歩行者が危険に晒されている区間が多くある。また、大型車がすれ違いできない区間もある。

掛川浜岡線バイパス、国道473号線バイパス等新設される路線や、東名高速道路菊川IC、JR菊川駅へのアクセス道路には1車線や歩道のない道路が多く、円滑かつ安全な道路としての整備が求められている。

○課題

都市計画道路西方高橋線については、一部ルートの変更が必要になるため地権者等地元への対応が必要となってくる。また一部の区間が事業化に向けての手法が定まっていない。

全ての路線において財源の確保が困難である事。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2地域の目指すべき将来像

静岡県菊川市

市の中心部と、地域の拠点を結ぶ道路網の整備、市内外を結ぶ幹線道の整備により、日常生活の安全や交通弱者の保護に配慮しつつ、人や物流を活性化し、活力のあるまちづくり。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事

静岡県菊川市

○重点事項 都市機能の高度化を図る都市道路の整備 地域を結ぶ幹線道路の整備 安全な生活道路の整備 適切な道路環境の維持・管理	○代表事例 西方高橋線、朝日線 幹線市道 歩道、ガードレールの設置	○期待する効果や評価 市街地の活性化、商業施設の集約 地域間の円滑な交通体系の確立 日常生活安全性や利便性、防災性の向上。 快適な道路空間の創造	○その他 市合併後、住民意識の一体感創出
--	--	--	---------------------------------